

農業経済学特論Ⅰ (2単位)

担当者氏名 金田憲和

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

農業経済学への応用を意識しながら、計量経済学の基本的な考え方を学ぶ。ここでは、記述統計と回帰分析を中心に学んでいく。パソコンを利用した実習も行う。

本講義の到達目標は、(1) 農業経済学分野における計量経済学的な研究論文を読む際に、その内容が理解できるようになること、および(2) 学生自らも初歩的な計量経済学的な研究を行うことができるようになること、である。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

統計学 _____

計量経済学 _____

農業経済学 _____

◆授業の進行等について

| | テーマ | 内容 | 授業のねらいまたは準備しておく事項 |
|----|-----------|----------------|-------------------|
| 1 | イントロダクション | 全体の導入 | 全体の導入 |
| 2 | 記述統計 1 | 記述統計の概念 | 記述統計の理解 |
| 3 | 記述統計 2 | 平均の概念 | 平均の概念の理解 |
| 4 | 記述統計 3 | 分散の概念 | 分散の概念の理解 |
| 5 | 回帰分析 1 | 記述統計としての回帰分析とは | 回帰分析の理解 |
| 6 | 回帰分析 2 | 回帰分析に用いるデータ | データの理解 |
| 7 | 回帰分析 3 | 回帰係数 | 回帰係数の理解 |
| 8 | 回帰分析 4 | 決定係数とその意味 1 | 決定係数の理解 |
| 9 | 回帰分析 5 | 決定係数とその意味 2 | 決定係数の理解 |
| 10 | 回帰分析 6 | 決定係数とその意味 3 | 決定係数の理解 |
| 11 | パソコン演習 1 | パソコンによる演習 | 演習で理解を深める |
| 12 | パソコン演習 2 | パソコンによる演習 | 演習で理解を深める |
| 13 | パソコン演習 3 | パソコンによる演習 | 演習で理解を深める |
| 14 | パソコン演習 4 | パソコンによる演習 | 演習で理解を深める |
| 15 | まとめ | まとめ | まとめ |

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

指定しない。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

新統計概論／森田優三／日本評論社 計量経済学／蓑谷千鳳彦／東洋経済 計量経済学／山本拓／新世社

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート1回30%、期末試験70%で評価。

◆その他受講上の注意事項

特になし。